

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所るれいるーむ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 2日 ～ R6年 12月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	R6年 11月 27日 ～ R6年 12月 6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名 (回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能型事業所（児童発達支援・放課後等デイサービス） ならではの異年齢の合同活動をおこなっている。	・日々の利用児童に合わせて、様々な活動を計画している。 ・活動に合わせて、毎日個別目標を立てて過ごしている。	・同じ支援者ばかりが活動を考えるのではなく、複数の支援 者で活動を考える事で、いろいろなアイデアを取り入れ、 様々な活動、体験ができるようにしている。
2	・一軒家で療育を行っており、利用者様のご家庭に似た環境 で安心して過ごす事ができるようにしている。	・一般家庭のような作りだが、トイレや洗面を複数設置した り、最低限の家具のみを置くようにしたりして、療育を行い やすい環境を整えている。	・トイレには補助便座や踏み台を用意したり、室内には滑り にくいようにマットを敷いたりしている。
3	・保育所に通っており、就労されている保護者様のお子様で もお預かりできるよう、近隣の保育所へ送迎を行うようにし ている。	・利用者様には全員に送迎のご案内をし、ご自宅への送迎も 範囲を決めて行っている。	・送迎を利用されている保護者様とも顔を合わせて会話が出 来る様、お迎えは事業所に来ていただく様にしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長期休みは、小学生から未就園児までが同じ時間に過ごす 為、環境設定や活動内容の難易度設定が難しい。	・長期休みは、人員配置が難しいことがある為。	・職員が積極的に資格が取得できるような援助や、学生アル バイト、ボランティアの採用など。
2	・立地が入り組んだところにあり、保護者様の送迎時、事業 所の前の道路や駐車場が混みあってしまう事がある。	・送迎時間が重なってしまう事や、送迎時、保護者様への伝 達事項が多くなってしまう時がある事。	・学年別に送迎時間を設定したり、必要最低限の連絡以外は 連絡帳やLINEを使用して行ったりするなど。
3	・一軒家の作りである為、室内に階段があり、未就園児に とっては、上り下りが難しい場合があることや、落下等の危 険性がある事がある。	・主な生活スペースが2階になっていること。	・利用児童に合わせて、1階で過ごす日を作ったり、階段を 下りるさいに手すりを必ず持つことや階段は落ち着いて降り る事等約束を繰り返し伝えたりするなど。